

白浜海水浴場と鹿島神社

白浜海岸には、白砂のビーチに加え、3月から9月にかけての地引き網体験などのさまざまな季節のアウトドア・アクティビティが楽しめる、ピクニックエリアとバーベキューエリアを備えた公園があります。

近くにある鹿島神社には、やや好き嫌いが強い神様がいます。伝説によると、地元の人々は伝統的にどぶろくと呼ばれる未精製の酒をこの神に供えていました。しかし、ある年は米の収穫量が非常に少なかったため、米の代わりに小麦で作った酒を供えざるを得ませんでした。その翌年は米が豊作になりました。それに感謝した農民たちが、またどぶろくを供えると、人々は急に病気やけがをするようになりました。集まって知恵を絞った結果、彼らは鹿島神社の神が米酒よりも小麦酒を好むという結論に達しました。これにちなんで鹿島神社には「ビール神社」のあだ名がつけられ、今日でも参拝者はビールをお供えしています。

鹿島神社は2011年に津波によって流されましたが、建物の構造はまだ残っており、津波で失われた碑の多くは再建されています。